

血液内科



■田中 江里

日本内科学会総合内科専門医，
日本血液学会専門医

■玉井 洋太郎

医学博士，
日本内科学会認定医，
日本血液学会専門医・指導医，
公益財団法人 骨髄移植推進団 調整医師

■神戸 栄美子

医学博士，
日本内科学会認定医，日本血液学会専門医

■稲垣 俊一郎

日本内科学会認定医

展望

高齢化社会に伴い血液系腫瘍である悪性リンパ腫，骨髄腫は年々増加していると統計的にも示されています。また高齢者の急性白血病も決してまれではありません。かつて血液疾患は大学病院でなければ診療が難しいとされてきた科ではありますが，血液疾患の増加に伴い一般病院でもその疾患を取り扱うことが必要になってきました。

当科は，JALSG（日本成人白血病治療共同研究グ

ループ）に加入しており，現時点で最良と考えられる最先端の治療を行っています。

急性白血病に対する治療はJALSGのプロトコールに準じた治療を行っています。

悪性リンパ腫は標準的治療であるR-CHOP療法，CHOP療法，治療抵抗性リンパ腫に対してはDEVIC療法をはじめとするサルベージ療法などを行っています。多発性骨髄腫に対してはレナリドマイド，サリドマイド，ベルケイド，MP療法を行っています。

自家末梢血幹細胞移植は2013年10月より当院で行えるようになりました。

また高齢化地域であることもあり骨髄異形成症候群も多く，外来で定期的に輸血をされることでこれまでと同じ生活が維持できるようサポートしています。その他にも良性疾患としての血小板減少症，骨髄増殖性疾患，全身疾患に伴う貧血などもみられ，常に良性から悪性疾患まで幅広い疾患を扱っています。

当院はCT，MRI，PETを含めた最新機器の予約が非常にスムーズにとれ，外科による協力体制のもと生検などの手術も非常に早くおこなえる，つまり初診から診断までが非常に早く，それが治療にいかせるというメリットがあります。また緊急時の対応は救急外来や内科の協力を得て行っています。

遠方に行かなくても治療が地元で行えること，そして診断から最後まで一貫性のある診療をさせていただくことを基本理念にしています。

研修

当院は2010年9月に新築移転し救急患者も増えました。世界的な病院評価機構であるJCIを取得し，さらに救命救急センターにも指定されました。内科では当科だけでなく呼吸器内科・肝胆膵疾患内科スタッ

フが増員されました。

来年度より当院の専門内科に入局しても他科研修が受けられるよう、自由度の高い研修システムに取り組んでいます。

当院は研修病院に認定され、次のような方を募集しています。

- ◆総合内科医になりたいが、血液疾患が不得意のため短期間の研修をしてみたい。
- ◆初期研修で当院に入職したかったが、諸事情で来られなかった。今一度、湘南鎌倉総合病院で働いてみたい。
- ◆一般病院で血液内科やその他の領域をローテーションしながら、内科専門医と血液専門医の取得を目指したい。
- ◆血液疾患を良性疾患から悪性疾患まで幅広い症例に触れたい。

血液疾患は決して稀ではなく、血液内科がないがゆえに内科研修として血液内科が欠けている研修病院も多くあります。外部の一般病院で総合内科を目指される先生方にも是非血液内科を研修してもらいたいと考えています。

診療実績 (2014.1~2014.12)

<マルク件数> 380件

<新規患者数>

悪性リンパ腫	76件
急性骨髄性白血病	20件
急性リンパ性白血病	5件
慢性骨髄性白血病	9件
慢性リンパ性白血病	1件
骨髄異形成症候群	20件
多発性骨髄腫	21件
再生不良性貧血	9件
特発性血小板減少性紫斑病	9件

自己免疫性溶血性貧血 3件

自家末梢血幹細胞移植 13例

業績

学会発表

1. 田中江里, 玉井洋太郎, 神戸栄美子, 稲垣俊一郎: 当院においてレナリドミドを使用した多発性骨髄腫の治療成績. 日本骨髄腫学会学術集会, 静岡, 2014, 5.
2. 上田明日美, 稲垣俊一郎, 神戸栄美子, 玉井洋太郎, 田中江里: 多発性骨髄腫の診断契機と予後に対する影響の検討, 日本内科学会総会・講演会, 東京, 2014, 4.

その他(研究会)

1. 玉井洋太郎: 高度な血小板減少を合併した IgH/c-Myc陽性 Plasmablastic multiple myeloma. 神奈川若手血液研究会, 横浜, 2014, 11.
2. 伊藤亮治, 田中江里: 診断に難渋した溶血性貧血の一例. 神奈川若手血液研究会, 横浜, 2014, 11.
3. 田中江里: 腎機能障害の進行をアザシチジンにて抑制したCMMLの一例. 神奈川MDS研究会, 横浜, 2014, 11.